

|        |     |     |        |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間   | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期     | 2   | 1   | 選択     |
| 担当教員   |     |     |        |
| 櫻井 美佐子 |     |     |        |
| 金1、金2  |     |     |        |
| 添付ファイル |     |     |        |
|        |     |     |        |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 科目の概要                     | 保育における「言葉」について理解を深め、子どもが言葉を豊かに育めるよう、保育者としての関わり方や支援方法について考える。   |
| 授業の内容                     | <p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方 成績評価の説明など）<br/>シラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 保育内容「言葉」の意義<br/>ことばを身につけることについて概説する。</p> <p>第3回 他領域との関り<br/>保育内容「言葉」と他領域との関りを解説する。</p> <p>第4回 子どもの言葉の発達<br/>子どもの言葉の発達について解説する。</p> <p>第5回 保育者は子どもにどう働きかけていくか（1）<br/>保育者の援助について概説する①</p> <p>第6回 保育者は子どもにどう働きかけていくか（2）<br/>保育者の援助について概説する②</p> <p>第7回 ことばの環境と文化財（1）<br/>言葉遊び（手遊び・わらべ歌）について解説する。</p> <p>第8回 ことばの環境と文化財（2）<br/>言葉の文化財（絵本・童話・昔話・素話）について解説する。</p> <p>第9回 ことばの環境と文化財（3）<br/>赤ちゃん絵本について解説する。</p> <p>第10回 ことばの環境と文化財（4）<br/>絵本について解説する。</p> <p>第11回 ことばの環境と文化財（5）絵本制作<br/>絵本制作を指導する①</p> <p>第12回 ことばの環境と文化財（6）絵本制作<br/>絵本制作を指導する②</p> <p>第13回 ことばの環境と文化財（7）紙芝居・パネルシアター<br/>ペープサートや紙芝居について解説する。</p> <p>第14回 文字習得の環境<br/>3歳以上の文字環境整備について解説する。</p> <p>第15回 保育内容「言葉」授業のまとめ 読み聞かせ実技発表<br/>制作した絵本を、読み聞かせ実践につなげる。</p> |
| 学習到達目標                    | 保育内容「言葉」について理解する。<br>子どもの言葉を育む保育方法について学び、実際の保育場面を想定し、製作・発表できる。   |
| 授業の方法                     | <p>《授業形態》講義形式・実技・制作・発表</p> <p>《アクティブラーニングの取り入れ状況》<br/>言葉遊びを各自発表。<br/>絵本を制作・実技</p>  |
| 成績評価の方法                   | 授業への参加度50%（授業参加態度30% 提出物20%）・制作発表及び模擬保育50%   |
| 教科書・テキスト                  | 保育内容「ことば」（第2版） 成田徹男編 （株）みらい  |
| 参考書                       | <p>「子どもとことば」（岡本夏木著 岩波新書）</p> <p>「絵本から学ぶ子どもの文化」（浅木尚美編著）同文書院</p>   |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | 絵本への関心を高めるため、絵本に触れる機会を増やすこと。<br>事後学修として、授業で学習したことを振り返り、要点を確認し、課題を整理しておく。   |
| 履修上の留意事項                  | 授業への参加度を重視するので、積極的に授業に参加し、発表や課題提出を確実にすること。   |
| オフィスアワー                   | 授業終了後、教室で  |
| 担当教員への連絡方法                | 欠席連絡などは、教務部に連絡のこと。   |

|     |  |
|-----|--|
| その他 |  |
|-----|--|